

平成 30 年第 6 回定例会一般質問通告事項

12 月 5 日 午 前	田 頭 敬 康 議員 (創 生 会)	質問方式：一問一答方式
	<p>1 平成 31 年度予算編成方針について</p> <p>(1) 平成 30 年 12 月補正後の一般財源の充当額と平成 29 年 12 月補正後の一般財源充当額を比較すると平成 30 年度の方が多いたと思いますが、これはどういうことでしょうか</p> <p>(2) 来年 10 月から消費税が 2%上がって 10%になると、平成 31 年度の国の税収は、2 兆 5,000 億円の増収となる。このことにより、必ずしも地方交付税は来年度減少するとも限らないことだと思いますが、どのようなお考えか</p> <p>(3) 市税についても、消費税が 2%上がることにより、日本経済全体としてのパイが大きくなるということなので、市税は増えてくることも想定されると思いますがいかがでしょうか</p> <p>(4) また、編成方針の 5 ページの (5) として、消費税率の引き上げについては歳入歳出ともに適正に転嫁した予算要求とすることとされております。 その点はどのように適正に転嫁された予算とされるのか</p> <p>2 災害対策本部設置と避難勧告、避難指示のあり方について</p> <p>(1) 災害から市民の生命財産を守るといのは、行政の義務ではないかと思いますが、どうでしょうか</p> <p>(2) 行政は個々の市民を守る義務を履行するため、避難指示等の場合には個々の市民に対してどこどこへ避難してくださいとか、あるいは避難指示等を出した場合に個々の市民がどのような状態にあるかを、市民全体について把握しておくことが必要ではないかと思いますがどうでしょうか</p> <p>(3) また災害対策本部を設置した場合に、その対策本部の中に防災士とか、気象予報士の資格を持った職員を配置することが好ましいと思いますが現在何人ぐらいいるのでしょうか</p> <p>(4) このような資格を持った、能力のある職員を配置することが必要ではないかと思いますが、いかがでしょうか</p> <p>(5) このような能力をもった職員がいれば、イベント開催時の天候の予測にも役立つと思いますが、どのようにお考えでしょうか</p> <p>(6) もし、気象予報士の資格を持った職員がいなければ、そのような資格取得のための研修の受講料あるいは受験料などを、市が負担してでも資格取得に努めるべきであると思いますがいかがでしょうか</p>	

3 浄化槽設置補助金と公共下水道事業について

- (1) 従前から下水道の事業計画区域には、浄化槽設置補助金が支給されていないことについて、再三質問させていただきました。このことについては、今後研究するというございでしたが、その後どのように研究されたのか、お伺いをいたします
- (2) 浄化槽設置補助金と下水道課で取り組んでいる、汚水処理構想の見直しと、公共下水道全体計画区域の大幅な縮小との関係は、どのようにリンクするのかお伺いをいたします

4 敬老優待乗車証等のロープウェイ利用について

- (1) 敬老優待乗車証等のロープウェイ利用は高齢者のお出かけ支援ということで、年をとってもいつまでも元気で健康を保持していただきたいということだと思います。そのような意味で、敬老優待乗車証をロープウェイで利用できるようにご検討いただきたい